

令和5年6月26日



## 相談室からのお手紙（6月号）

愛媛県立松山中央高等学校

先日の全校集会で、今年度は「アイデンティティの確立」へ向けて「憧れの人」についてお話ししました。皆さんも幼稚園の頃、ご両親や先生や周りのお兄さんお姉さんの真似をし、またテレビの中のヒーローや主人公などになりきって「ごっこ遊び」をしたことと思います。成長するにつれてその対象になる人と内容（「優しい」「冷静」などの人格面）は変わってきたかもしれません。憧れとは自分にとっての理想であり、私たちは目標となるその人の姿や行動を学び、真似て、考えや価値観を取り入れながら人格を形成しています。

皆さん一人一人、誰かに対して「かっこいいな、素敵だな」と思う基準は違い、自分が生きていく中で「こんな人になりたい」というロールモデルもそれぞれ違うと思います。皆さんは今、「考え方や行動がかっこいい人」「魅力を感じる人」と聞かれて誰を思い浮かべるでしょう。

例えば、部活の先輩。先輩の姿に憧れ、先輩からの言葉に勇気をもらい、また周りの人への接し方や声のかけ方、部のまとめ方などを見せてもらい、「あんな人に自分もなりたい」「あんなふうに話せば上手く伝わるのだ」と習ったのではないのでしょうか。それは皆さんにとって見本や規範となり、良いお手本となったことでしょう。自分も周りの人への接し方を考えるようになり、また次に、それを自分の後輩へとつなげていっているのだと思います。

「自分とは？」「自分はどう生きるか」「どんな人間になりたいか」の、参考の一つにしてくださいね。成長期の皆さんの心はとても柔軟で、多くの出会いに影響を受けながら自分を育てています。少しずつ少しずつ、なりたい自分、自分が好きになれる自分に近づいていってくださいね。

スクールライフアドバイザー 岡本 綾

★スクールライフアドバイザー来校予定日（12：00～18：00）

6月27日（火）・29日（木）

7月 4日（火）・ 6日（木）・11日（火）・13日（木）

★メールアドレス

[kawamin\\_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp](mailto:kawamin_chuosoudansitu@school.esnet.ed.jp)

★生徒の皆さんだけでなく、保護者の皆様も、気軽に利用してください。

令和5年度がスタートして、皆さんはどんな日々を過ごしていますか。

私たちにとって大きな変化は、5月8日から新型コロナウイルス感染症の扱いが5類感染症へ移行したことです。それに伴い、学校生活も緩やかにコロナ前の姿を取り戻しています。

5月には、去年は実施されなかった1・3年生の遠足がありました。2年生は3班に分かれて、北海道、東京、沖縄方面へ修学旅行に行きました。私は、沖縄を77人の生徒と旅しました。梅雨入りが例年より遅めの沖縄は、天候に恵まれ、青い空にマリンスポーツの海、絵葉書のような風景が私たちを出迎えてくれました。どこまでも広がる青い瀬底ビーチでマリンスポーツを体験する生徒の笑顔、ちょっぴり冷たい海水、あふれる光を眺めながら、この旅行に参加したみんなが、今日のこの光景を一生忘れないだろうと確信しました。沖縄の旅の最後の夜、島唄をライブショーで聴きました。最後は、バスガイドさんに教えてもらった「ゆいまーる…沖縄の方言で『助け合い』という意味」という曲を生徒のリクエストで合唱。「ここはおきなわ！（ユイ）、これがおきなわ！（ユイ）。」ショーの出演者はもちろん、先生も生徒も、歌ったり、踊ったり、「ライブ」を楽しんだ一夜でした。

沖縄という離島が持つ、自然の美しさ、原色に彩られた風景、そこに暮らす人々の明るさ、生命力、基地と隣り合わせの日常で考える「平和」など、いろんな「リアル」を体験した生徒たち。先の見えないトンネルからやっと一歩抜け出せたのか、旅行が終わるころの表情には、ちょっと変化を感じました。

「沖縄の大学に行くのもいいかもしれない。」「また、沖縄に来たいな。」そう話す横顔に嬉しくなりました。

6月に入り、各運動部では県総体が行われました。私も先日、水泳競技の県総体に競技役員として参加しました。観客を迎えるのは4年ぶりです。声を出す生徒の応援も4年ぶりです。やっとコロナ前の大会がもどってきたことを肌で感じ、競技に集中しつつも、ふとした瞬間に涙腺が緩み、うるっとしてしまいました。「分散登校」を経験した生徒が、表彰台の真ん中において、仲間の歓声に包まれながら、大勢の観客の撮影に笑顔で応じる姿を見て、泣きそうになるのをこらえました。

旅行、ライブ、合唱、応援、有観客試合等、行動制限は緩和され、かつての生活に近づきつつあることを感じる今日この頃ですが、国立成育医療研究センターの調査結果によると、心や体の状態が回復するのに時間がかかる子どももいるそうです。世の中の変化についていくのが難しいこともあるでしょう。どうかあせらず、周囲の人に相談したり、お話をしたりしてみましょ。よかったら、教育相談室ものぞいてみてください。

教育相談課 Y